

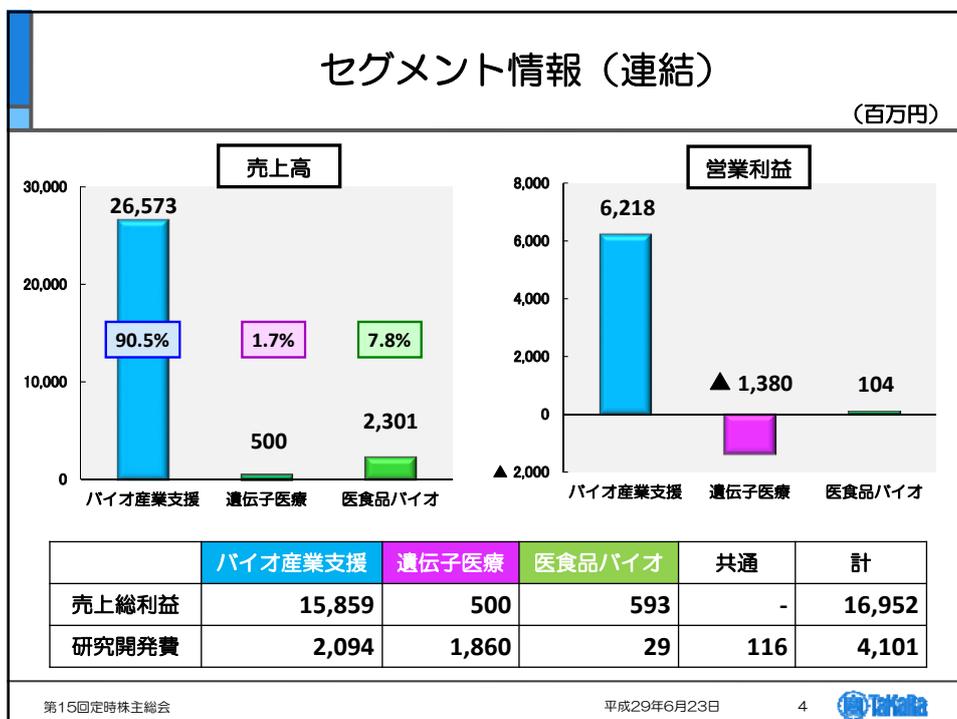
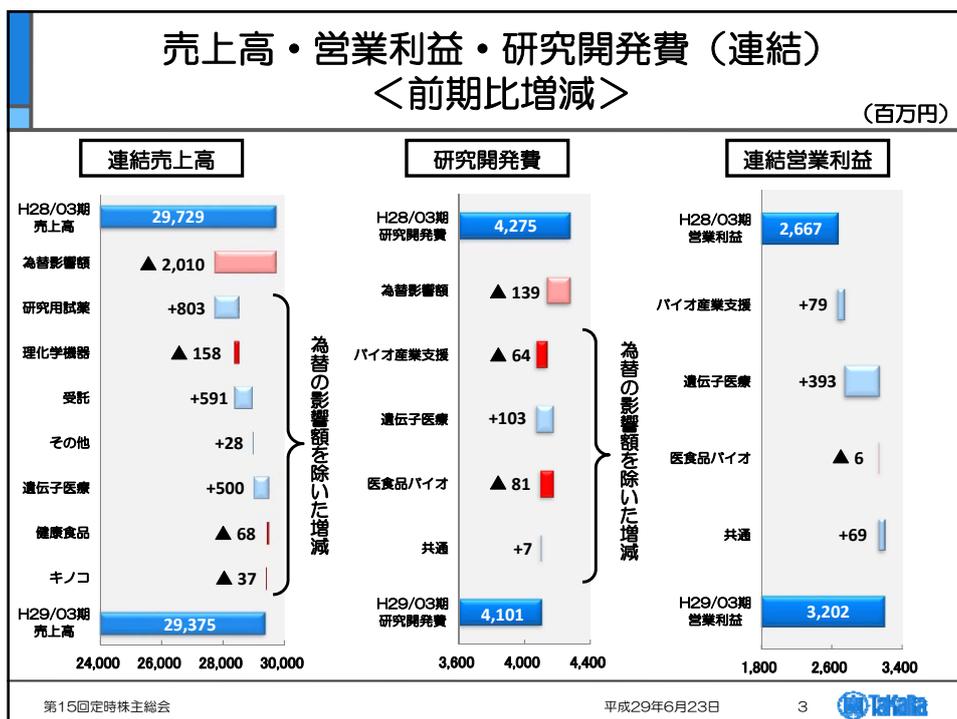


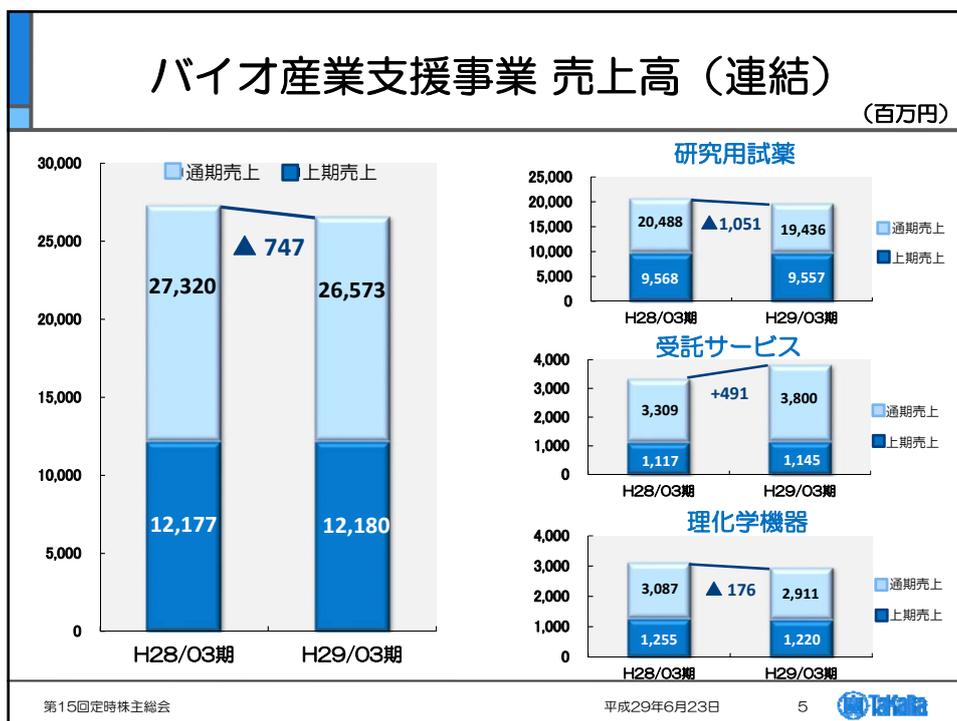
「第15期事業報告、および連結計算書類」
「第15期計算書類（単体）」
「中期経営計画」

連結業績

	平成29年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	29,375	▲ 353	▲ 1.2%
売上原価	12,422	▲ 983	▲ 7.3%
売上総利益	16,952	+629	+3.9%
販売費及び一般管理費	13,749	+93	+0.7%
営業利益	3,202	+535	+20.1%
経常利益	3,579	+277	+8.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,352	+18	+1.4%



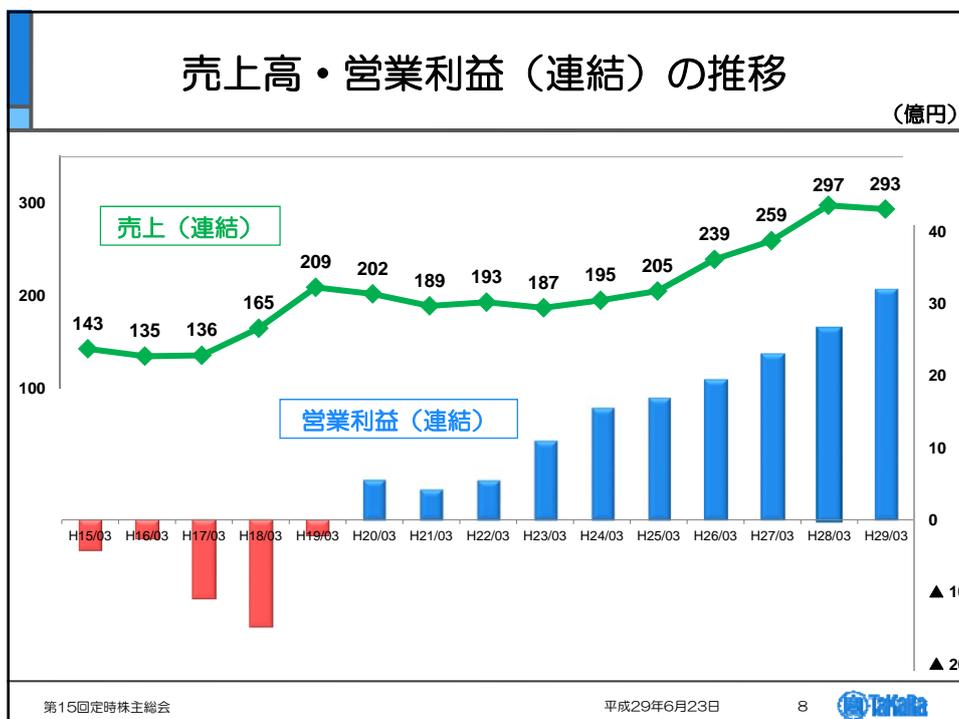
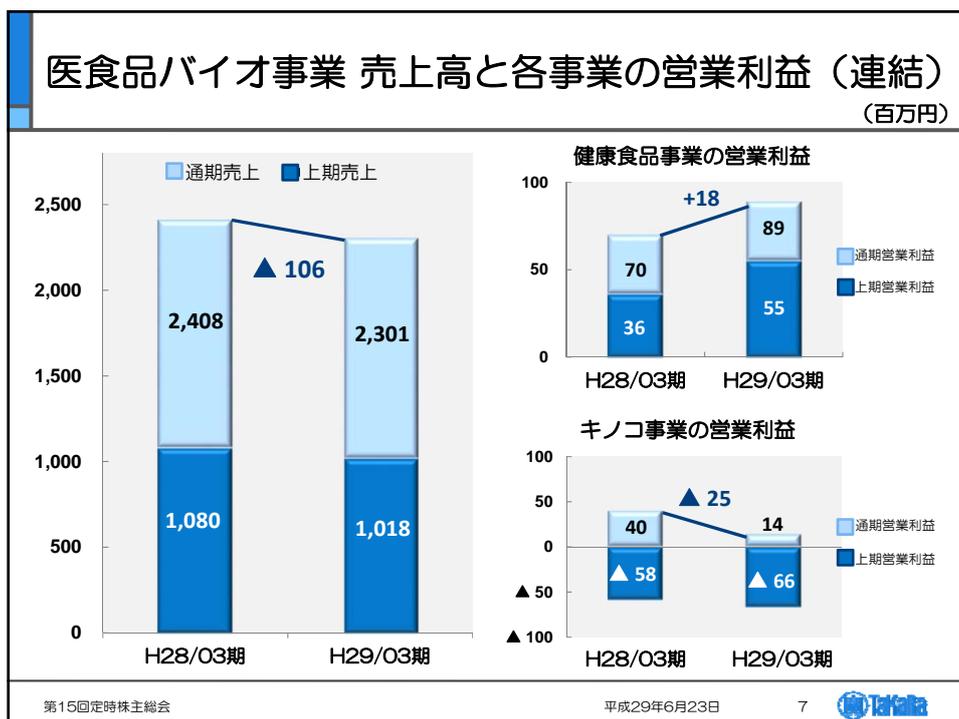




バイオ産業支援事業 売上高（連結） 研究用試薬の外部売上高（連結） (百万円)

	H28/O3期	H29/O3期	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比（為替の 影響除く）
日本	5,550	5,717	+167	-	+167
米国	6,311	6,223	▲ 88	▲ 703	+615
欧州	2,339	2,335	▲ 3	▲ 272	+268
中国	5,221	4,138	▲ 1,083	▲ 725	▲ 357
(大連)	(3,427)	(2,195)	(▲ 1,231)	(▲ 385)	(▲ 846)
(北京)	(1,794)	(1,942)	(+148)	(▲ 340)	(+489)
韓国	780	744	▲ 35	▲ 106	+70
インド	285	276	▲ 8	▲ 46	+37

第15回定時株主総会 平成29年6月23日 6



単体業績

(単位：百万円)

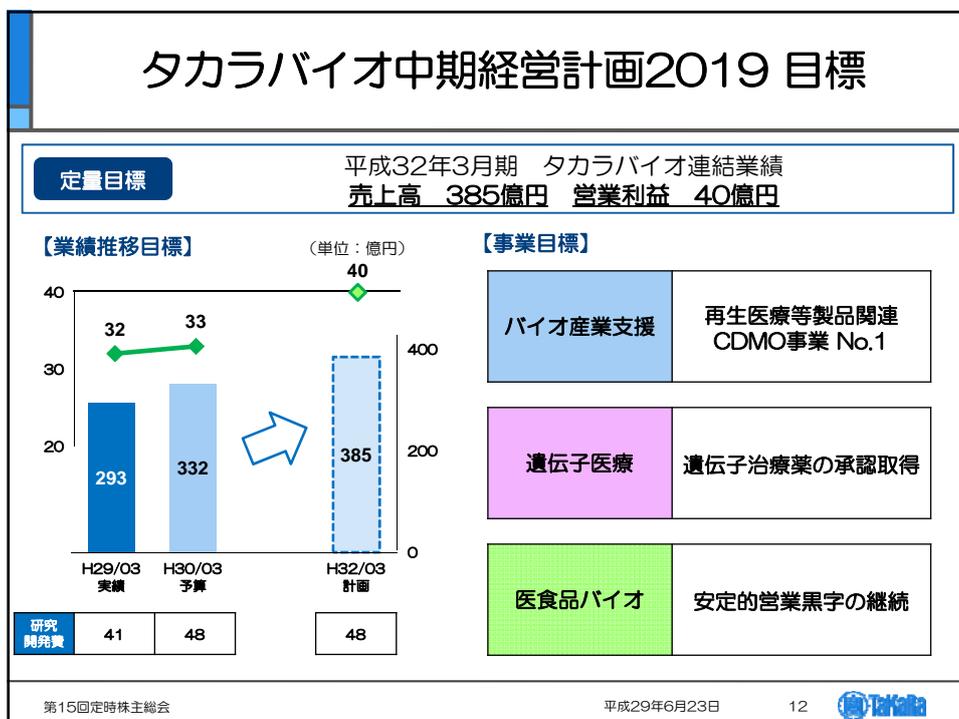
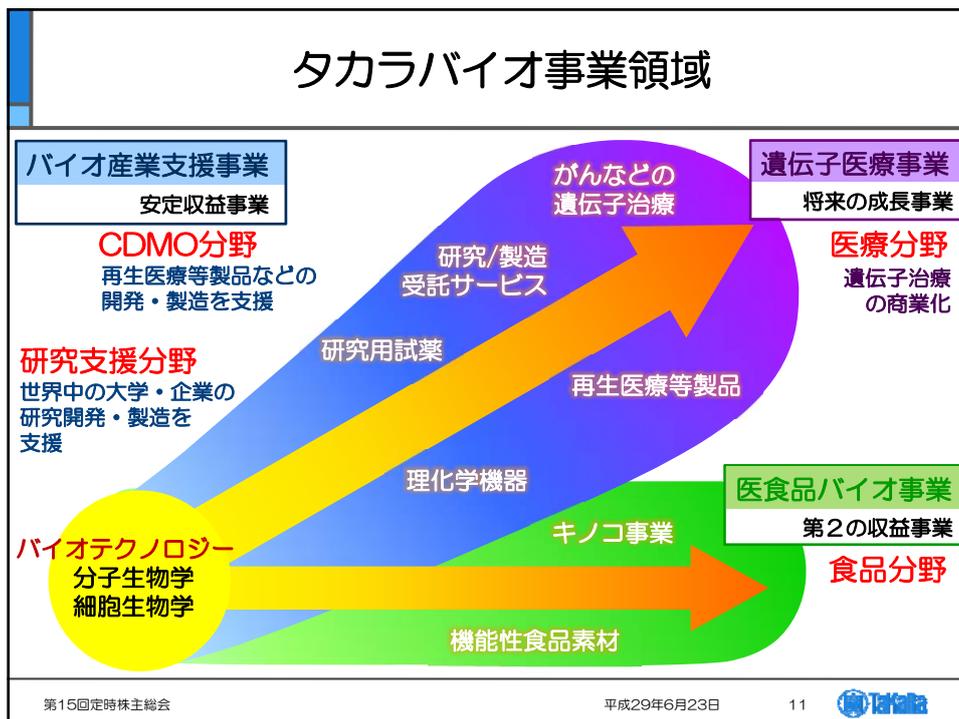
	平成29年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	19,422	+1,796	+10.2%
売上原価	11,894	+690	+6.2%
売上総利益	7,528	+1,106	+17.2%
販売費及び 一般管理費	7,299	+67	+0.9%
営業利益	229	+1,038	—
経常利益	2,008	+559	+38.6%
当期純利益	1,261	+559	+79.7%



中期経営計画

- ・タカラバイオ中期経営計画2019
- ・各事業における重点施策





医食品バイオ事業の施策 第2の収益事業として、安定的な営業黒字を継続

(百万円)

6つの機能性素材に特化した研究開発活動の推進

- ◆ ガゴメ昆布「フコイダン」
- ◆ ポタンパウフウ「イソサミジン」
- ◆ 明日葉「カルコン」
- ◆ 寒天「アガロオリゴ糖」
- ◆ ヤムイモ「ヤムスゲニン®」
- ◆ キノコ「テルペン」

宝ヘルスケア社への製品安定供給体制の構築

- ◆ 品質管理体制の強化
- ◆ 製造技術開発によるコストダウン

キノコ製品のブランド戦略の構築

- ◆ 本しめじの「京のブランド産品」認証の活用
- ◆ 冷凍キノコの販売強化

期	実績	予算	計画
H29/O3	2,307	-	-
H30/O3	-	2,313	-
H32/O3	-	-	2,700

第15回定時株主総会
平成29年6月23日
13

バイオ産業支援事業の施策① CDMO事業の拡大

CDMO事業の売上高推移目標

期	実績	予算	計画
H29/O3	3,252	-	-
H30/O3	-	3,750	-
H32/O3	-	-	4,500

バクテリア製造受託

- ◆ 遺伝子・細胞プロセッシングセンター内製造施設を増設（6製造室⇒8製造室）
- ◆ バクテリア製造技術・新規バクテリア開発

細胞加工受託

- ◆ 川崎市殿町地区ライフイノベーションセンター内細胞調製室の稼働

遺伝子研究受託

- ◆ シングルセル解析やリッドバクテリアをターゲットとした超微量核酸解析受託の強化

遺伝子検査受託

- ◆ 再生医療等製品の品質試験受託の強化
- ◆ 腸内細菌叢解析などの技術開発

第15回定時株主総会
平成29年6月23日
14

バイオ産業支援事業の施策② WaferGen社・Rubicon社買収シナジーの最大化

R&D

- ◆ タカラバイオ（超微量RNA解析技術）
- ◆ WaferGen社（シングルセル、自動ライブラリー作製技術）
- ◆ Rubicon社（超微量DNA解析技術）

製造

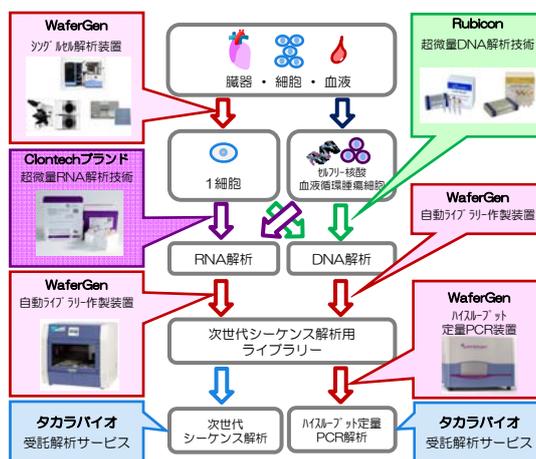
- ◆ 宝生物工程（大連）有限公司への製造移管によるコストダウン

セールス・マーケティング

- ◆ グループの販売網の活用

拠点統合

超微量核酸解析（DNA・RNA）の流れ



第15回定時株主総会

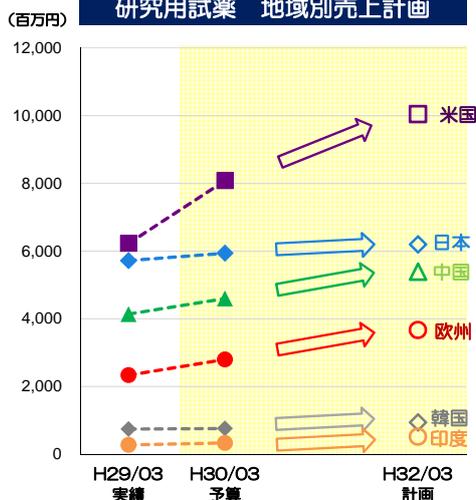
平成29年6月23日

15



バイオ産業支援事業の施策③ 海外展開とグローバルR&D体制の強化

研究用試薬 地域別売上計画



海外売上高比率

平成29年3月期実績：56%
平成32年3月期計画：60%以上

研究開発の注力分野

- ◆ 再生医療等製品の基盤技術
- ◆ 超微量核酸分析技術
- ◆ クリニカルシーケンス分野
- ◆ Applied Field分野
- ◆ ゲノム編集関連技術

第15回定時株主総会

平成29年6月23日

16



遺伝子医療事業の施策① HF10プロジェクトの推進

腫瘍

HF10

ウイルスの拡散

がん細胞 → ウイルス増殖 → がん細胞の破壊 (細胞溶解)

正常細胞 → ウイルスは複製しない → 正常細胞は影響を受けない

承認取得目標

平成31年3月期

独自技術・体制

- ◆ 高い安全性
- ◆ 全身性の抗腫瘍作用（非投与部位での腫瘍縮小）を確認
- ◆ カルタヘナ法の対象外
- ◆ 高品質なHF10製剤の自社製造体制を保有

臨床開発体制

- ◆ 米国臨床試験成果の活用（抗体医薬との併用で、有効性と安全性を確認）

第15回定時株主総会 平成29年6月23日 17

遺伝子医療事業の施策② CD19・CARプロジェクトの推進

患者

CAR遺伝子導入用レトロウイルスベクター 独自のベクター

RetroNectin® を用いる独自技術

リンパ球活性化

遺伝子導入 拡大培養

遺伝子導入リンパ球

キメラ抗原受容体 (CAR)

採取 輸注

活性化した遺伝子導入リンパ球ががん治療効果を高める

承認取得目標

平成33年3月期

独自技術・体制

- ◆ RetroNectin®拡大培養法
- ◆ RetroNectin®を用いた高効率遺伝子導入法
- ◆ 国内でのベクター・遺伝子導入細胞の自社製造体制を保有

臨床開発体制

- ◆ 産学官でのCD19・CAR遺伝子治療の安全性に関する情報交換会を開催（PMDA・治験実施施設医師・企業が参加）

第15回定時株主総会 平成29年6月23日 18

遺伝子医療事業の施策③ NY-ESO-1・siTCRプロジェクトの推進

独自のsiTCRベクター技術

TCR遺伝子
siTCRベクター

**RetroNectin®
を用いる独自技術**

**遺伝子導入
拡大培養**

リンパ球
活性化

がん患者
末梢血リンパ球

採取

患者

輸注

遺伝子導入
リンパ球

T細胞受容体
(TCR)

活性化した遺伝子導入リンパ球が
がん治療効果を高める

承認取得目標

平成33年3月期

独自技術・体制

- ◆ RetroNectin®拡大培養法
- ◆ RetroNectin®を用いた高効率遺伝子導入法
- ◆ siTCRベクター技術
- ◆ コンパニオン診断薬を開発中
- ◆ 国内でのベクター・遺伝子導入細胞の自社製造体制を保有

臨床開発体制

- ◆ 骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）との協力
- ◆ 国内医師主導治験やカナダでの臨床試験成果の活用

第15回定時株主総会 平成29年6月23日 19

遺伝子医療事業の施策④ 提携プロジェクトの推進

提携プロジェクト		対象疾患	現状	提携先	
Oncolytic Virus	HF10 (TBI-1401)	日本	膵臓がん	Phase I 開始準備中	大塚製薬(株)
		米国	悪性黒色腫	Phase III 計画中	-
Engineered T cell Therapy	siTCR	日本	食道がん など	Phase I 進行中	-
		日本	食道がん など	Phase I 進行中	-
	CAR	日本	小児ALL	計画中	-

HF10国内プロジェクトの提携概要

前臨床試験

PI/II

販売

悪性黒色腫

膵臓がん

癌種 X

癌種 Y

→ ライセンスアウト

HF10の製造権は保持